

○4月26日(土)調査結果の報告

天候:くもり 気温:15.1℃

	水温	水質 (PH/COD)	透視度	網キラーで捕れた生き物
地点①	17.5℃	6.5/8	86.5cm	アメリカザリガニ 1 匹・スジエビ 30 匹・クロダハゼ 6 匹・エビノコバン 8 匹
地点②	17.0℃	6.5/8	102.0cm	スジエビ 1 匹・クロダハゼ 2 匹
地点③	16.9℃	6.0/8	105.0cm	アメリカザリガニ 1 匹・スジエビ 6 匹・クロダハゼ 6 匹・エビノコバン 1 匹
地点④				スジエビ 1 匹・クロダハゼ 1 匹
地点⑤	17.0℃	6.0/8	52.5cm	スジエビ 2 匹

※地点 4 は、地形上沼水の採取が不可能なため、生き物のみの調査。

※水質調査は、「誰でもどこでもできる水質測定パックテスト」(共立理化学研究所監修)を使用。
COD は低濃度対応のもの。

※透視度計は、高さ 1m でケニス株式会社監修のものを使用。

-考察-

- ・気温が先月より約 3℃、そして水温が全体を通じて約 5~7℃上昇したことに伴い、生息を確認出来た生き物の数が増加した。また、クロダハゼの中には、ドブガイのグロキディウム幼生が付着している個体も確認出来た。
- ・PH はやや低い数値であったが、生き物が暮らせる中性数値を保っていた。COD は高い数値を示しており、魚類のエサとなる植物プランクトンが多くいる状態で保たれていると思われる。透明度は全体的には高い数値であったが、落葉した葉の浮遊が多い地点⑤のみ他所と比べ低かった。